

ユーザーマニュアル

日本語

2210 / 2250
紙幣カウンター



印刷版

[ここをクリック](#)すると、選択した言語の印刷版マニュアルが表示されます。

はじめに

Safescan 2200 - シリーズ 紙幣カウンターをご購入いただき、誠にありがとうございます。クイック・インストール・ガイドは、Safescanの紙幣カウンターの利用開始時に使用することを目的とし、設定と操作の手順を説明しています。

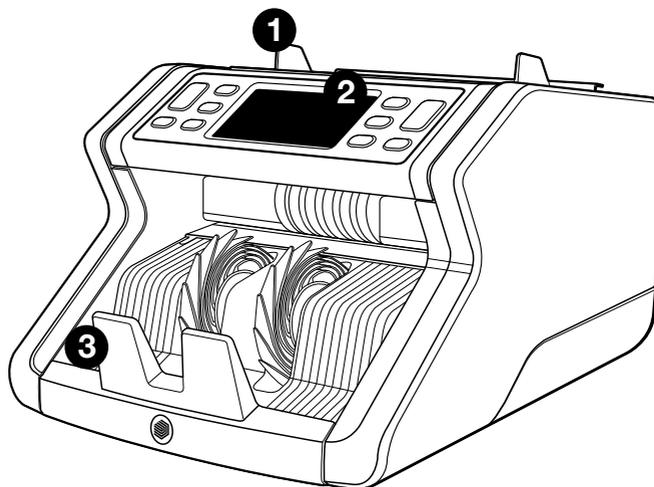
パッケージ内容

リテールボックスには以下のものが入っている:

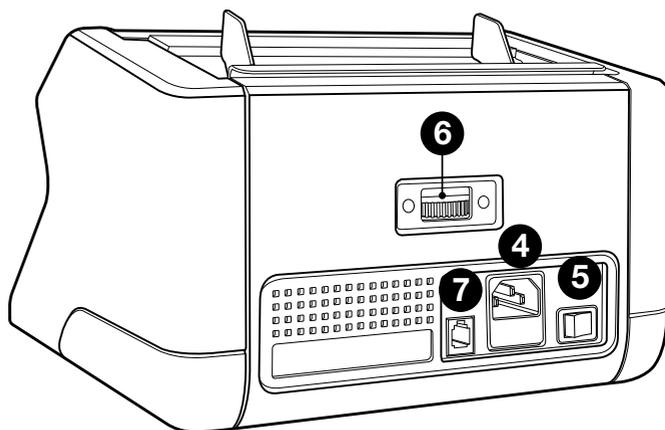
- Safescan 2210 / 2250 紙幣カウンター
- 電源コード
- メンテナンスキット
- ユーザーマニュアル

各部の名称

手前

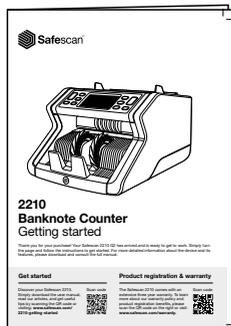


奥

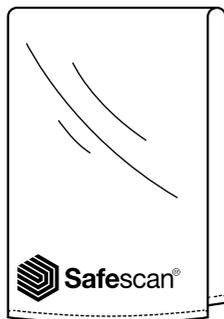


1. ホッパーと可変ガイド
2. 正面パネル（ディスプレイ/ボタン）
3. スタッカー
4. 電源接続
5. オン/オフスイッチ
6. ホッパー調整ホイール
7. 外部ディスプレイ接続用のRJ12ポート

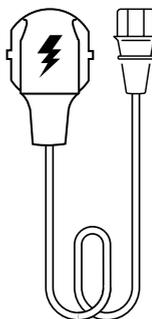
8



9



10



11

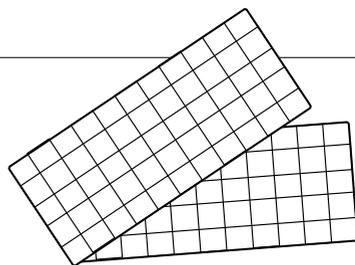


8. 使用説明書が記載されたパンフレット
9. ダストカバー
10. 電源コード
11. クリーニングブラシ

アクセサリ

セーフスキャン紙幣カウンター用クリーニング・カード（15枚入り）、品番 152-0663。

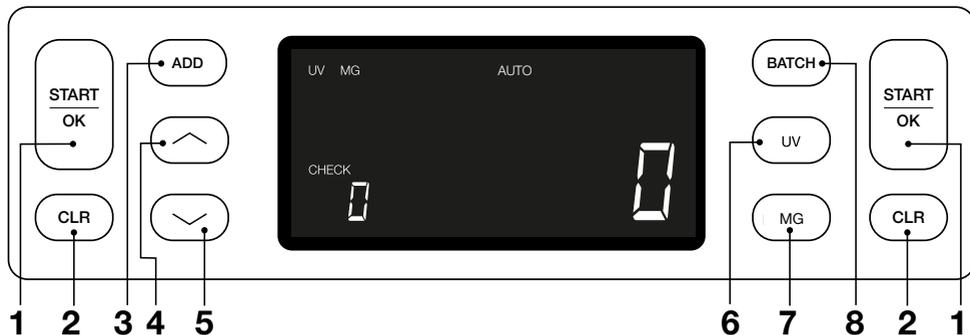
詳細は www.safescan.com。



紙幣の特徴検出

モデル	UV特徴	MG機能	厚さ機能	サイズ (高さ)
Safescan 2210	・	—	—	・
Safescan 2250	・	・	・	・

各種ボタンとオペレーション



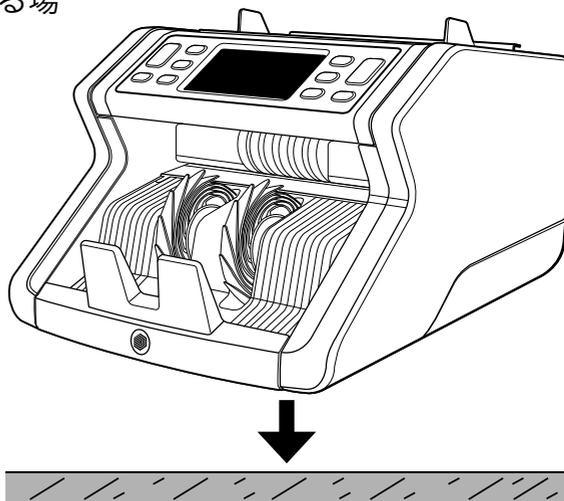
短押

長押 (3秒)

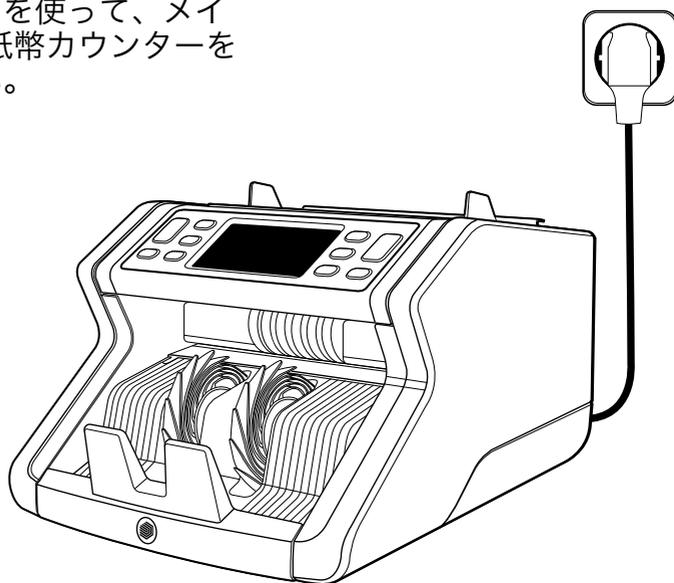
- | | |
|--|----------------------------------|
| 1. カウント開始/メニュー決定ボタン | 自動または手動スタートを選択ボタン |
| 2. カウントした紙幣数を消去 | 装置を初期設定にリセットする |
| 3. 機能を追加 オン/オフ | 厚さの感度調整メニューに入力 |
| 4. 1ごとに入力値を増やす | |
| 5. 1ごとに入力値を減らす | |
| 6. UV機能探知オン/オフ | UV感度レベル調整メニューに入力 |
| 7. Safescan 2210: 自動または手動スタートを選択
Safescan 2250: MG機能探知オン/オフ | GM感度レベル調整メニューに入力 (Safescan 2250) |
| 8. バッチ機能オン/オフ/バッチ番号の設定 | 紙幣の高さ感度レベル調整メニューに入力 |

使用を始める

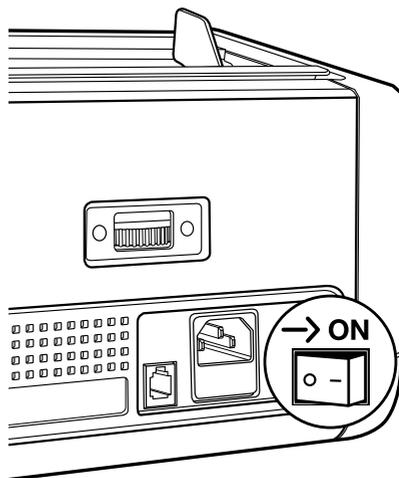
1. 機械を水平で安定している場所に置いてください。



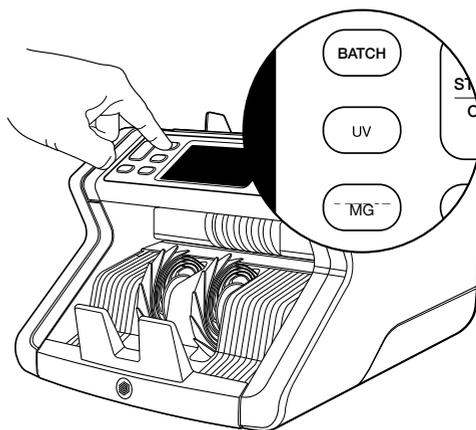
2. 付属の電源コードを使って、メインコンセントに紙幣カウンターを接続してください。



3. 「1」の位置の裏にある電源スイッチを押して、紙幣カウンターのスイッチをオンにします。



4. 紙幣の検出機能初期設定:
Safescan 2210: UV /
2250*: UV + MG
UV/MGボタンを押すことにより変更することができます。(* Safescan 2250のみ)



カウントの準備ができました

これで、機械は計数する準備が整いました。より高度な設定については、このマニュアルの次の章で説明します。

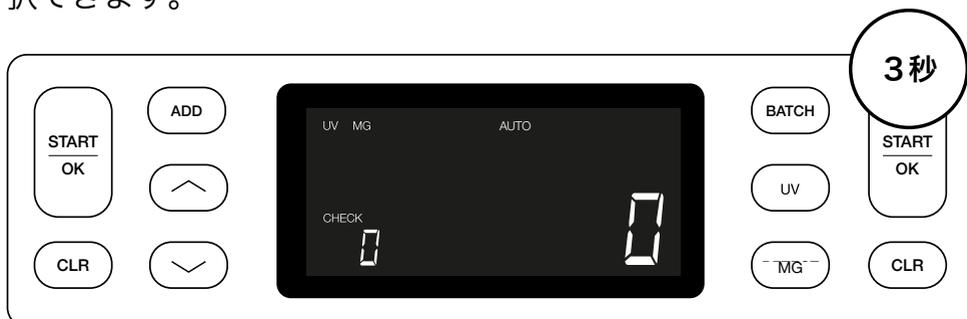
紙幣をカウントする

自動スタート/手動スタート 初期設定は” Auto自動” です。- ホッパーに紙幣を置くとカウントが始まります。自動か手動([Startスタート]ボタンを押しカウントを開始)を選択することができます。

Safescan 2210 : Auto自動ボタンを押し、設定/解除を選択できます。設定が画面に表示されます

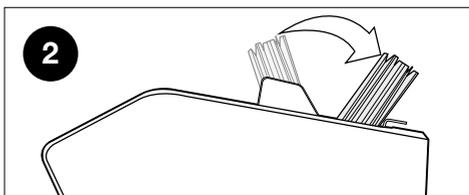
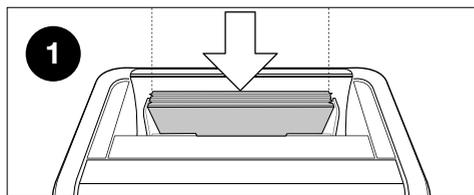
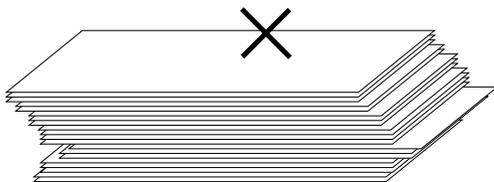
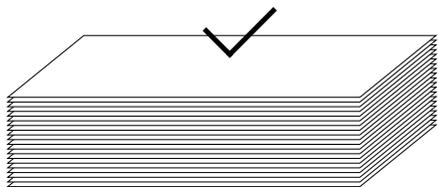


Safescan 2250 : Startスタートボタンを3秒押し、設定/解除を選択できます。



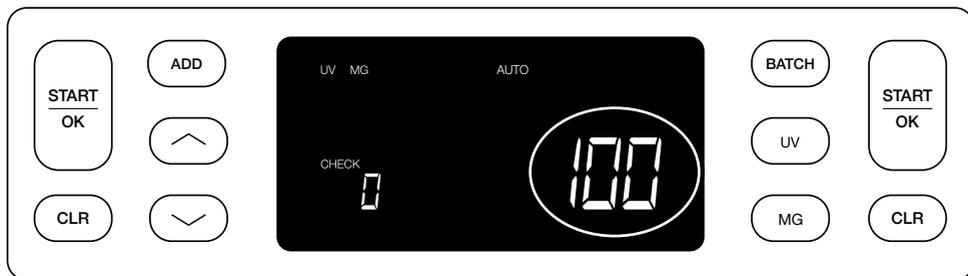
日本語

1: ホッパーに紙幣を挿入し、2: 紙幣の束をを後方へ倒し、カウントを開始します。ホッパーガイドを使用し紙幣を中心に配置します。

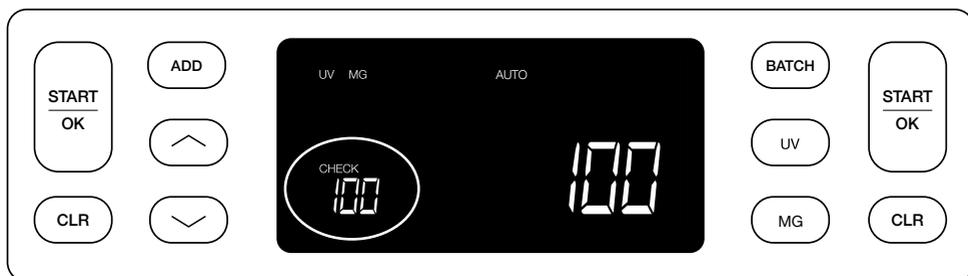


注意: カウントの前に紙幣を金種ごとに仕分けしてください。

カウントが完了すると紙幣の枚数が表示されます。



2つめの束をカウントする、もしくは最初の束を再カウントすると、前のカウント数が画面の[CHECK チェック]の下に表示されます。

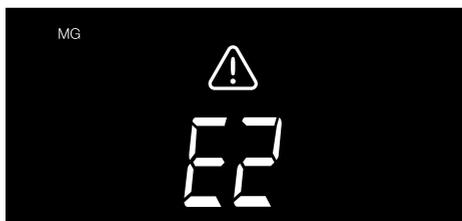


カウント中のエラーメッセージ

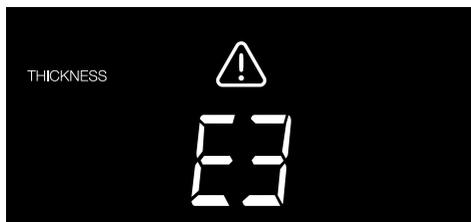
紙幣に問題が検出されると、機械はカウントを停止しエラーメッセージを表示します。最後にカウントされた紙幣がエラー紙幣です。



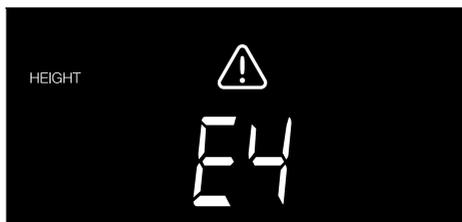
UV機能に問題があります。



MG(磁気)機能に問題があります。(Safescan2250のみ)



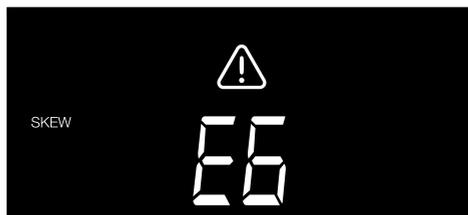
異なる厚さの紙幣が検出されたか、2枚の紙幣が重なっています。(二重紙幣検出)



最初にカウントされた紙幣と異なる高さの紙幣が検出されました。(最小差5mm)



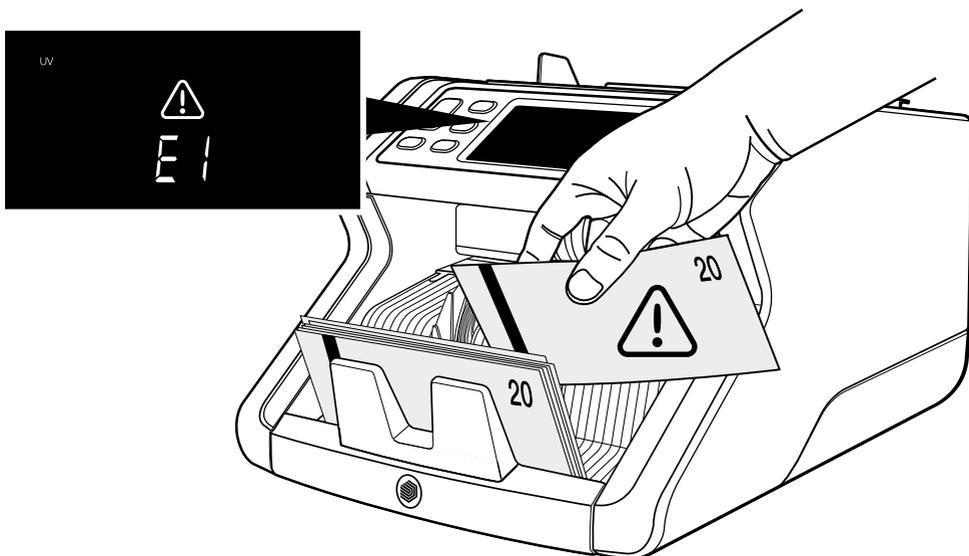
最初にカウントされた紙幣と異なる幅の紙幣が検出されました。(欠損紙幣検出)



紙幣が歪んだ状態で挿入されました。(まっすぐに挿入されていません)

追加情報および詳細は、「トラブルシューティング」の章を参照してください。

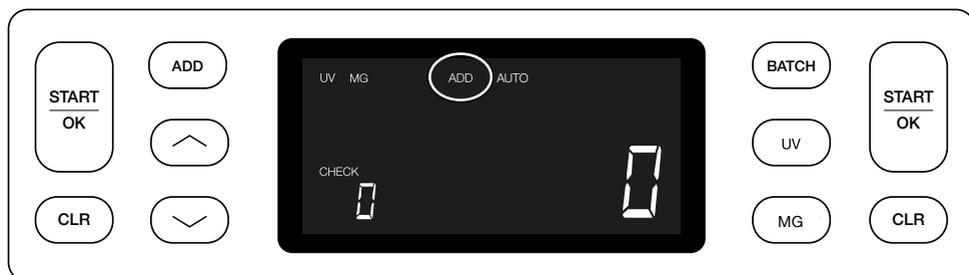
疑わしい紙幣を取り除き（これがスタッカー内で最後にカウントされた紙幣です）、STARTボタンを押してカウントを続けます。



追加とバッチ機能

1. ADD (追加)

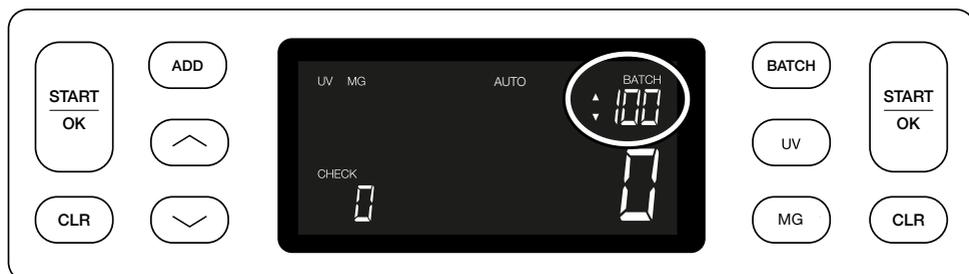
ADD(追加)機能を使用すると、累積してカウントすることができます。カウントされた紙幣の束を取り除き新しい紙幣の束を追加すると、数量が合計カウントに追加されます。この機能はADD(追加)ボタンを押しアクティブにすることができます。画面のインジゲーターが点灯します。



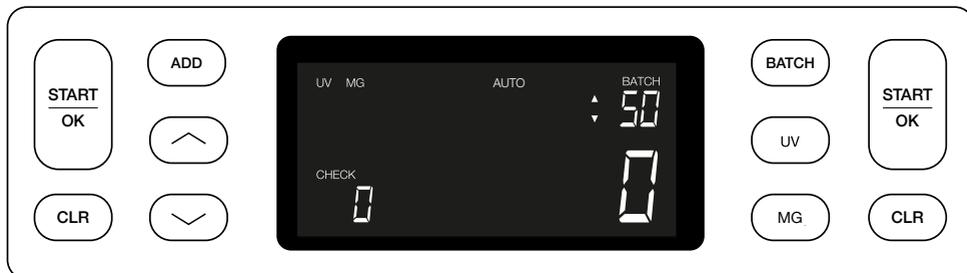
2. バッチ機能

BATCH(バッチ機能)を使用すると、前もって設定された数の紙幣の束と同じ束を作成できます。設定されたバッチ数に達するとカウントが停止されます。バッチ数は次のように設定できます:

2.1. BATCH(バッチ機能)ボタンを押して機能をアクティブにします。画面のインジゲーターが点灯し、2つの矢印が点灯します。



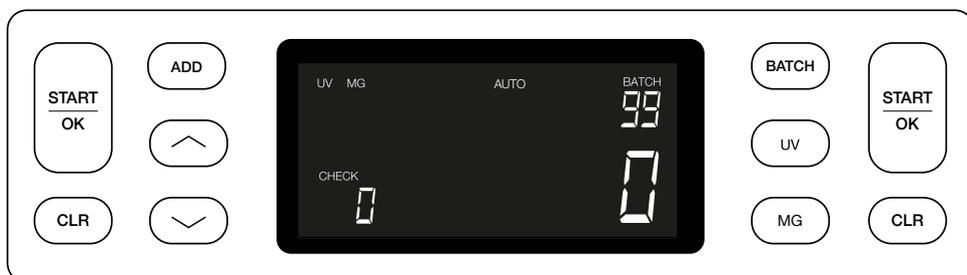
2.2. もう一度BATCH(バッチ機能)ボタンを押し、束数を設定します。100>50>20>10>オフの順で変更できます。



2.3. 矢印キーを使用して、数を一つずつ増減することができます。画面に'100'と表示されている場合↑を押すと101, 102、↓を押すと99, 98と変更ができます。



2.4. START(スタート)キーを押しバッチ数を確認します。その後設定されたバッチ数は画面に表示されます。



偽造検出設定の調整

紙幣カウンターは、最適な偽造検出設定で事前に構成されています。まれに偽造検出設定の感度を手動で調整する必要がある場合があります。

注: これらの設定はSafescanのテクニカルアドバイザーより指示を受けた時のみ調整をしてください。

検出機能の感度はメニューから調整できます。次の設定を行うことができます:

1. UV

UVボタンを3秒間押すと、UV感度レベルメニューがアクティブになります。2つの点滅する矢印を含む初期設定のレベルが表示されます。調整手順は(5)を参照してください。



2. MG(磁気)

MGボタンを3秒押すとMG感度レベルメニューがアクティブになります。2つの点滅する矢印を含む初期設定のレベルが表示されます。調整手順は(5)を参照してください。



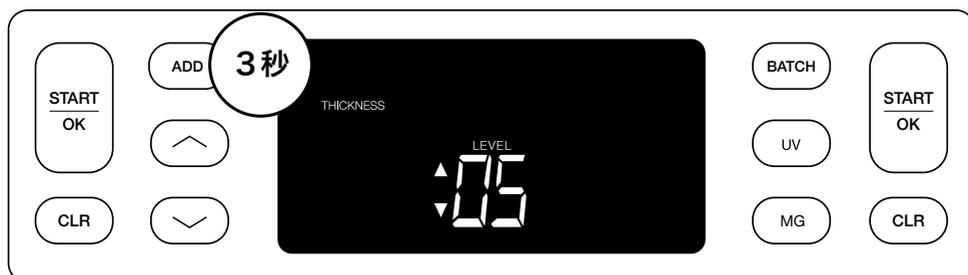
3. 高さ

BATCHボタンを3秒押すと高さ感度レベルメニューがアクティブになります。2つの点滅する矢印を含む初期設定のレベルが表示されます。調整手順は(5)を参照してください。



4. 厚さ

ADDボタンを3秒押すと厚さ感度レベルメニューがアクティブになります。2つの点滅する矢印を含む初期設定のレベルが表示されます。調整手順は(5)を参照してください。



5. レベルの調整

矢印キーを使用し感度レベルの高低を調整します。



6. 選択の決定

START(スタート)を押してレベルを決定します。

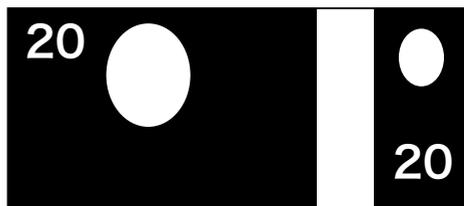


出荷時設定にリセット

出荷時設定に戻す: [CLRクリア]を長押しします。出荷時設定に戻るとアラーム音でお知らせします。

透明部分が大きいポリマー紙幣の計数 (ファームウェアバージョンD08 / U08以上で有効)

ポリマー紙幣には、AUD、CAD、SCT、NIR (一部) などの券面で、大きな透明部分がデザインに組み込まれているものがあります。紙幣上のこれらの透明部分の位置によっては、2210/2250で、これらの紙幣を必ずしも正しく計数できず、計数中に**E4** (高さエラー) や**E5** (幅エラー) のメッセージが表示されることがあります。



透明部分が大きいポリマー紙幣をミスなく連続的に計数するために、高さと幅 (半券) 検出を無効にするオプションがあります。

高さと幅の検出を無効にするには、矢印の下ボタン  を3秒間押してください。3回ビープ音が鳴り、ディスプレイに「**HEIGHT OFF**」 (高さオフ) が表示されます。



この設定では、高さや幅が異なる紙幣を計数する場合は、検出できませんのでご注意ください。

再度サイズ検出を有効にするには、下矢印ボタン  を3秒間押します。本機が3回ビープ音を鳴らし、ディスプレイに「**HEIGHT ON**」（高さオン）が表示されます。

トラブルシューティング

問題	原因	状態
E1 (UV) エラーメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> - 紙幣が偽造されている疑いがあります。 - 紙幣が古い、何度も使用している、または誤って洗濯機で洗ってしまった場合、紙幣のUV統合機能が弱まる場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> - 問題が続くか確認するため、再度カウントを行ってください。 - UVセンサーの妨げとなる場合がありますので、直射日光に当たっていないか確認してください。 - センサーの妨げとなる場合がありますので、ほこりを除去し掃除をしてください。 - 紙幣が本物の場合、UV感度を低くしてもう一度カウントしてください。
E2 (MG) エラーメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> - 紙幣が偽造されている疑いがあります。 - いくつかの通貨の中にはMG(磁気)が低いものがあり、それらを検出するのはほぼ不可能です。 - MG(磁気)が全く搭載されていない通貨も存在します。 	<ul style="list-style-type: none"> - 問題が続くか確認するため、再度カウントを行ってください。 - 紙幣のクリーニングカードを使用し磁気センサーをクリーニングしてください。 - 紙幣が本物の場合、MG感度を低くしてもう一度カウントしてください。

問題	原因	状態
E3 (厚さ) エラーメッセージ	<ul style="list-style-type: none">- 紙幣の厚さが逸脱していることで、偽造品と見なしたため。- 複数の紙幣がくっついて、本機がそれを1枚としてスキャンしたため。- 紙幣が厚すぎることで、本機が正しく認識できなかったため。	<ul style="list-style-type: none">- 紙幣を再計数し、問題が解決しないか確認してください。- スタック内で紙幣がくっついていないか確認してください。- 紙幣が折れていたたり、ぼろぼろになっていたりしないか確認してください。
E4 (高さ) エラーメッセージ	<ul style="list-style-type: none">- 紙幣の高さがずれていることで、偽造品と見なされたため。- 紙幣の券面が最初に計数した紙幣異なっていたため。- 紙幣の一部に破損、破れ、裂けがあったため。- 紙幣が本機内に正しく送り込まれなかったため。	

問題	原因	状態
サイズ検出が機能しない	<ul style="list-style-type: none">- カウントした全ての通貨サイズ(高さ)が同じ可能性があります。(例: アメリカドル, スイスフラン, カナダドル, オーストラリアドル, フォリント)- 多くの通貨における高さの違いはごくわずかなため、検出できないことがあります。(最低5mmの違いがある必要があります)- 本機が「大きい透明部分のあるポリマー紙幣の計数」モードになっている可能性があります。下矢印キーを3秒間長押しすると、このモードが終了します。詳細は、20ページをご覧ください。	

問題	原因	状態
E6（紙幣の歪み）エラーメッセージの表示	紙幣がまっすぐに機械に入っていません。	紙幣が適切に置かれ、ホッパーの中央に挿入されていることを確認してください。紙幣を中心に置くためにホッパーを使用し、紙幣の束をカウントするときはカウント中に手で紙幣を調整してください。
設定時のEA0～EA5エラー	紙幣がスタッカーになく（EA2エラー）、紙幣やその他のものが機械内部で妨げとなっていないことを確認してください。エラーメッセージが消えない場合、Safescanテクニカルサポートまでご連絡ください。	

操作詳細の説明については、webサイトよりダウンロード可能なユーザーマニュアルを参照ください: www.safescan.com

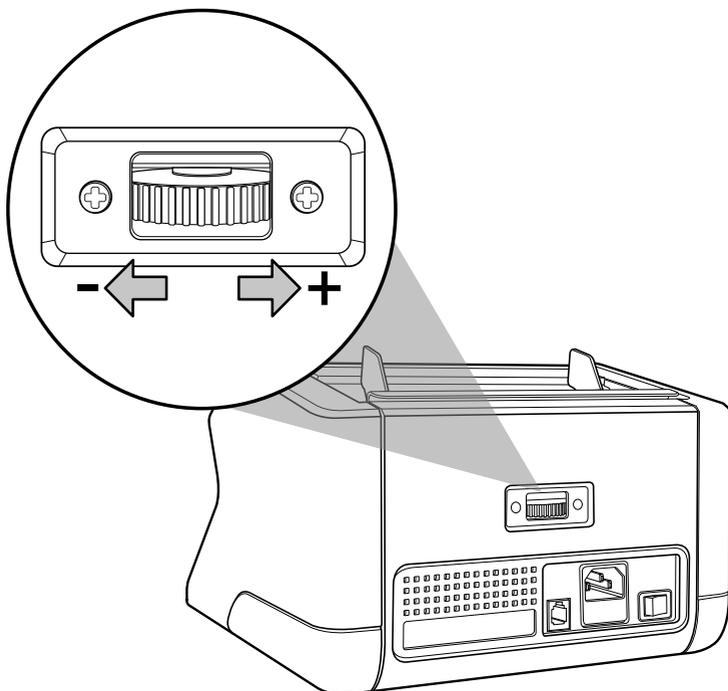
ホッパー調整ホイール

紙幣の厚さエラーが頻繁に発生する場合や、紙幣がスムーズに送られなかった場合は、ホッパー調整ノブで調整する必要があります。工場ではホッパーホイールの位置は適切に設定されていますが、一部の紙幣や、紙やポリマー紙幣の性質上、最適なパフォーマンスを確保するために調整が必要になる場合があります。

紙幣がスムーズにカウントされない場合: 調整ホイールを時計回りに回して、紙幣の厚さの距離を増やします。(+)

‘紙幣の重複’ や ‘紙幣の重なり/紙幣の重複’ などのカウントエラーが頻繁に発生する場合は、調整ホイールを反時計回りに回して紙幣の厚さの距離を減らします。(–)

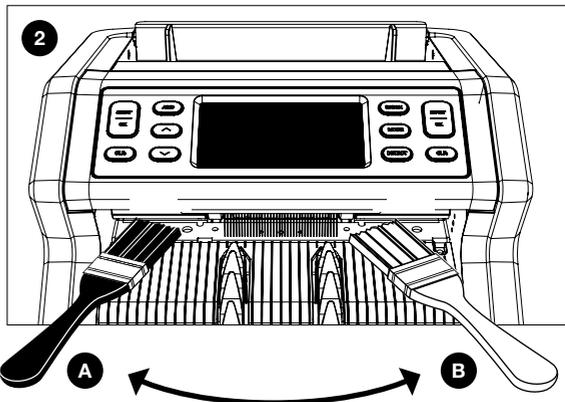
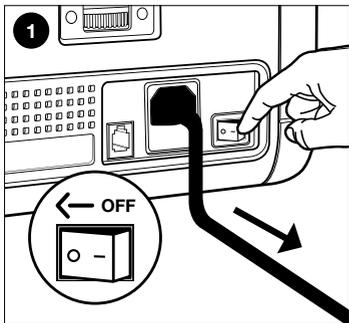
注意: 調整ホイールは繊細に反応するため、少しずつ調整をしてください。



メンテナンス

Safescan 2210 / 2250 は高精度の装置です。動作と信頼性を最適なレベルに維持するためには、機械を頻繁に清掃することが重要です。エアダスターを使ってホコリや汚れを取り除いてください。付属のドライブラシでホッパーとスタッカーを清掃してください。重要：硬貨、ステープル、クリップのような異物が誤って機械内部に入り込むことは、装置の故障につながるため、常に防止してください。

メンテナンス



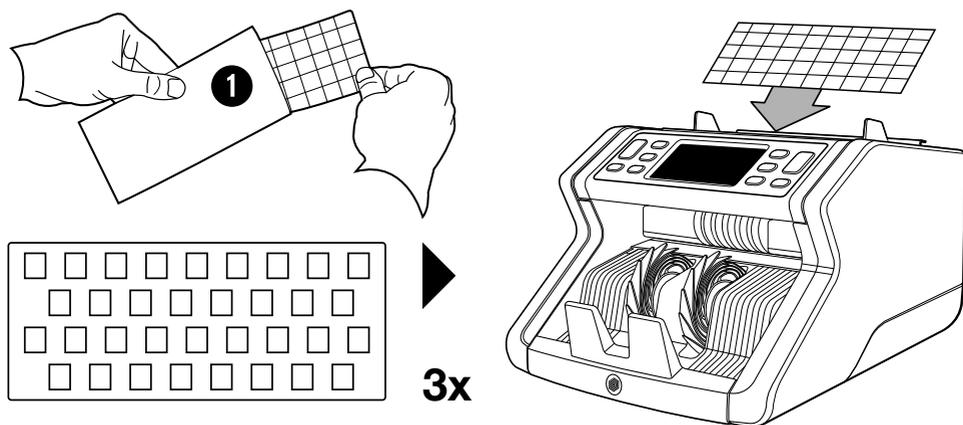
1. デバイスの電源を切り、電源コードを抜きます。
2. 上部と下部の隙間にブラシを入れます。ブラシを横に動かし、ブラシが上下の両方に触れることを確認します。
3. 左側 (A) と右側 (B) の両方でこの手順に従います。rechterzijde (B).

おすすめ:

- 1 ~ 2 週間ごとにデバイスを掃除してください。
- 最適なメンテナンスのために、圧縮空気スプレー缶を使用してほこりを取り除くことも強くお勧めします。

紙幣カウンタークリーニングカードの使用（オプション）

砥石ローラーと磁気センサーを掃除するために、Safescan紙幣カウンタークリーニングカード（部品番号136-0546）を使用することができます。



技術仕様

使用できる通貨:	すべての通貨
カウント速度:	紙幣1000枚/1分 偽造紙幣検出機能: UV機能、MG機能 (Safescan 2250のみ)、サイズ (高さ)、厚さ
紙幣の大きさの範囲:	50 x 110 mm~90 x 180 mm
ホッパー容量:	紙幣150枚
スタッカー容量:	紙幣220枚
電力:	AC 220-240V/50-60Hz.アメリカモデル: AC 120V / 60Hz
消費電力:	60W
寸法:	29.5 x 25 x 18.4 cm/11.6 x 9.8 x 7.2インチ
重さ:	5.8 kg/12.8 ポンド
動作温度:	0 ~ 40° c

保証

保証手続き：サポートにつきましては、Safescanまでご連絡ください：www.safescan.com/warranty

 本製品は、最低要件および その他適用される欧州指令の関連条件に準拠します。適合宣言書 (DoC) は次のサイトでご覧いただけます：www.safescan.com

 廃棄する場合、リサイクルセンターに持ち込んでください。絶対に電子機器と家庭ごみを一緒に廃棄しないでください。

Safescan[®] is a registered trademark of Solid Control Holding B.V.

No part of this manual may be reproduced in any form, by print, copy or in any other way without prior written permission of Solid Control Holding B.V. Solid Control Holding B.V. reserves all intellectual and industrial property rights such as any and all of their patent, trademark, design, manufacturing, reproduction, use and sales rights. All information in this manual is subject to change without prior notice. Solid Control Holding B.V. is not liable and/or responsible in any way for the information provided in this catalog.

20232

Safescan[®]

www.safescan.com
info@safescan.com